

① ぶつぞうおさめるだいいこうどうをさいけんぞうするため、しよくにんたちがそうどういんされた。

② にさんかたんそやさんせいこのぞうかは、せいぶつのぐんせいちがへるげんいんになっている。

③ じゆぎょうでは、きょうしがくどうてんのつけかたとこうかについていじした。

④ ひょうげんないようをほうふにするため、こうせいをてきせつにしてしゅうしよくごをふやすいききたいせつだ。

⑤ てっこうせきをもやすせてつじよのけいえいはりえきがでなくなり、ゆにゆうにたよるようになった。

⑥ かんきょうによいひりょうをつかいせいをだしてたがやし、オーガニックのこめだわらを作った。

小五書き ②

① せんぞのはかまいりのため、よきんからしんかんせんのおうふくけんのきんがくをだしてかった。

② てきからせんせいてんをひきよせるため、ボールをひとりじめしないようにしどうされた。

③ しゅうかんしをへんしゅうするしゅっぱんしゃから、だんたいのしょうたいじょうとかんせんけんがどどいた。

④ テレビにしゅつえんしたあるせいじかは、しょうひぜいをぜったいにあげないのべていた。

⑤ げんざいは、てがみからイーメールへいどうし、ねんがじょうがへったというしゅちょうにさんせいする。

⑥ じこをえいきゅうになくすため、こんざつするきゅうどうでこうつうのかんそくや

ちようさをし、じったいをほうこくした。

① さいがいがおこってからぼうさいそしきをもうけるのは、じゅんじよがぎやくだ。

② わたあめは、あめにくらべるとしたのうえでとけるせいしつがあることをりかいした。

③ してんちようがはんにんであることは、そのつまのふじんふくからさいしゅうしたけつえきで

しょうめいされた。

④ こうしゃできそくにはんしてひじょうくちをはそんし、しゃざいぶんをていしゆつした。

⑤ おらのためにおおぜいをひきいてたたかったぶしにおんがえしするため、おらびとはどうぞうをたてた。

⑥ りゆうがくでこくさいじんになりぼうえきをいとなんでざいさんをきずき、かいてきにくらすことが

ゆめだ。

小五書き ④

① かりにきんせんがなくまずしくてもとくのあるひとは、ゆたかなところとせいぎのいしをもつ。

② ほんをよけいにかしだしていたので、きょうみのあったぼうけんシリーズすうさつをかりた。

③ ちちはいつもせいけつなかっこうで、しよぞくするじむしよへむかう。

④ りょうちのでんとうやでんしょうをほごしたひとがこうせきをひょうかさされ、きよじゅうちに
しりょうかんがたった。

⑤ けんさのけいからはんだんされて、きんしされていたたいいんがきよかさされかんしゃした。

⑥ どうぶつをかいならすかていしょうりやくしてならないことは、ほんのうをりかいすることだ。

① ひやくえんきんいつのおにぎりじつことあつでのもうふをじゅんびし、ぼうふううのさいがいちへむ
かった。

② ゆうじょうがもてるひとのじょうけんは、あいてとにたきもちをそうぞうしてかんがえられることだ。

③ かこうのさくらをがんながめえきべんをたべると、たびのたのしさがましてゆかいになった。

④ ふくぎつなえだわかれのみちでまよったので、あんないしたせきにんからちずでちよくせつにたしかめた。

⑤ にほんせいじんこうえいせいはいせかいのきじゅんをはるかにこえ、たかいぎじゅつをほこっている。

⑥ すいあつをおうようしたみずでっぼうのあそびは、きげんとばしよをまもることでゆるされた。